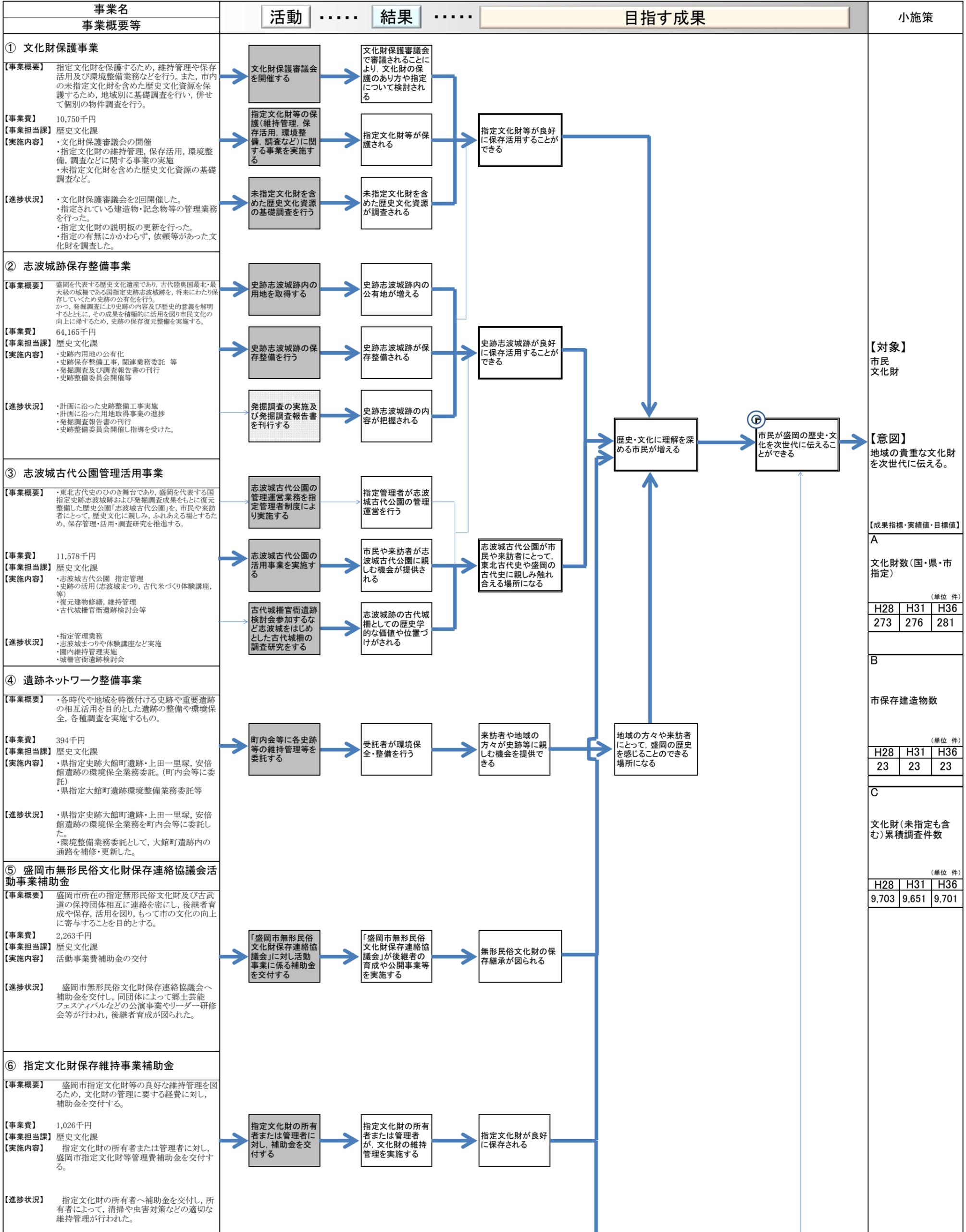


【別紙】

ロジックモデルシート(平成28年度実績評価)

施策コード	11	施策名	歴史文化の継承	小施策	歴史文化課
小施策コード	11-1	小施策名	文化財の保護と活用	主管課名	



事業名 事業概要等	活動 …… 結果 ……	目指す成果	小施策																		
⑦ 中央公民館文化財保存整備事業 【事業概要】 中央公民館内にある指定文化財を保存維持し、公開する 【事業費】 104千円 【事業担当課】 中央公民館 【実施内容】 重要文化財旧中村家住宅、旧南部家別邸主屋及び旧南部氏別邸庭園の維持管理と公開。 【進捗状況】 軽微な修繕を行いながら、施設の維持管理を図り、来場者への公開を随時行っている。	指定文化財の保存維持管理を行い、公開する → 来館者が文化財を見学する → 文化財が適切に保存される → 文化財に関心を持つ市民が増える																				
⑧ 盛岡城跡保存整備事業 【事業概要】 ・盛岡を代表する歴史文化遺産であり、現在の中心市街地形成の原点とも言える指定史跡盛岡城跡の歴史的環境を保存・管理するための事業を実施するもの。 本事業については、史跡盛岡城跡の重要な本質的価値を構成する石垣の保存・管理のための各種調査を継続的に実施するものである。 【事業費】 1,961千円 【事業担当課】 歴史文化課 【実施内容】 ・石垣変位調査業務委託 ・石垣基礎調査支援業務委託等 【進捗状況】 ・石垣変位調査及び石垣基礎調査支援業務委託を実施し、石垣の現況把握に努めた。	史跡盛岡城跡の石垣の各種調査を委託し、石垣修復工事等を実施する → 史跡の保全と来園者の安全確保が図られる → 史跡盛岡城跡の歴史的価値が保全され、利活用の推進が図られる																				
⑨ 埋蔵文化財発掘調査事業 【事業概要】 文化財保護法に基づき、市内の遺跡に係る開発行為に際して事前調査(試掘・立会)を実施し、その結果、現状保存を図ることができない場合は、発掘調査を行うとともに、その内容を報告書等により記録保存している。併せて、調査成果を発表する普及活動を実施する。 【事業費】 18,868千円 【事業担当課】 歴史文化課(遺跡の学び館) 【実施内容】 埋蔵文化財の調査や資料の整理及び適切な収蔵保管を行なうとともに、発掘調査の結果を公表する報告書等の作成及び普及事業を行なう。 ①埋蔵文化財発掘(事前・本)調査 公共事業関連、個人住宅、宅地造成等 ②発掘調査に伴う整理作業・報告書作成刊行 ③現地説明会や調査成果報告会等の普及活動 【進捗状況】 予定された各調査、整理作業、報告書刊行、現地説明会や調査成果報告会等の普及活動は確実に実施することができた。 ①発掘調査件数:27件 ②整理・報告書作成件数:6件 ③現地説明会9/21,12/4、調査成果報告会(3/5)	埋蔵文化財調査や資料整理及び適切な収蔵保管を行なうとともに、発掘調査成果を公表する報告書等を作成する → 各種開発行為等により失われようとしている埋蔵文化財を現状保存や記録保存(発掘調査報告書)により、確実に保存される → 地域に所在する埋蔵文化財が正確に把握され、それぞれの内容・価値に応じて適切かつ適正に保存される 現地説明会や調査成果報告会等の開催等の活動により、発掘調査成果を広く市民へ普及させる → 市民が地域が持つ歴史や文化を知り、地域ならではの多様な価値を認知する → 地域固有の歴史や文化の認知により、埋蔵文化財への理解や興味が広がり、入館者が増加する		【対象】 市民 文化財 【意図】 地域の貴重な文化財を次世代に伝える。																		
⑩ 遺跡の学び館管理運営事業 【事業概要】 埋蔵文化財の発掘調査・報告書刊行・保管収蔵、調査成果の普及・活用を目的に展示会や講座等の開催、観光客への歴史紹介等の場として広く活用するため、施設の良好な維持管理や円滑な運営を行なう。 【事業費】 13,725千円 【事業担当課】 歴史文化課(遺跡の学び館) 【実施内容】 ・埋蔵文化財発掘調査業務の計画的な推進及び調査成果を市民・観光客へ広く普及・活用するため、施設を良好に維持管理する。 ・地震等の災害対策を万全にするため、施設の基盤整備に努める。 【進捗状況】 効率の良い調査業務や効果的な普及・活用業務の遂行のため、施設の維持管理を適正且つ良好に実施した。また、防災訓練の実施を始め、災害等への備えも的確に行なった。	埋蔵文化財発掘調査業務の計画的な推進、調査成果を市民・観光客へ広く普及・活用するため、施設を良好に維持管理する → 市民が、調査成果還元を図るに相応しい場、市民の継続的な生涯学習の場、文化財全般の情報センターの場として活用でき、市民へ利便性と快適性を供与する → 施設の有効性が理解され、利用者(入館者)が増加する 地震等の災害対策及び省エネルギー対策を万全にするため、施設の基盤整備を行う → 重要な出土品や貴重な記録資料が確実に保管される → 市民が快適で安全に施設を活用できる		【成果指標・実績値・目標値】 A 文化財数(国・県・市指定) (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H28</th><th>H31</th><th>H36</th></tr> <tr><td>273</td><td>276</td><td>281</td></tr> </table> B 市保存建造物数 (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H28</th><th>H31</th><th>H36</th></tr> <tr><td>23</td><td>23</td><td>23</td></tr> </table> C 文化財(未指定も含む)累積調査件数 (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H28</th><th>H31</th><th>H36</th></tr> <tr><td>9,703</td><td>9,651</td><td>9,701</td></tr> </table>	H28	H31	H36	273	276	281	H28	H31	H36	23	23	23	H28	H31	H36	9,703	9,651	9,701
H28	H31	H36																			
273	276	281																			
H28	H31	H36																			
23	23	23																			
H28	H31	H36																			
9,703	9,651	9,701																			
⑪ 遺跡の学び館学芸事業 【事業概要】 市内の遺跡や発掘調査により出土した遺物を中心に、企画や、講座等を開催し、埋蔵文化財の活用・普及を図り、市民の歴史や文化財への愛着と地域への理解を深める。 【事業費】 3,007千円 【事業担当課】 歴史文化課(遺跡の学び館) 【実施内容】 ・展示会・講座・体験学習等の開催により、広く市民に学習の機会と場を提供する。 ・埋蔵文化財資料の利用促進のため、教育機関、町内会、子ども会等への積極的なPR活動を行う。 【進捗状況】 市民ニーズに応えた展示会・講座・体験学習の実施、出土品の積極的な公開等、効果的に実施できた。また、老人クラブ、老人福祉センターへの周知活動を行った。	展示会・講座・体験学習等を開催する → 市民が展示会・講座・体験学習等に参加する → 埋蔵文化財に関心を持つ市民が増える 埋蔵文化財資料の利用促進のため、教育機関・町内会・子ども会等への積極的なPR活動を行う → 市民が、地域(土地)の歴史やアイデンティティを知ることができる → 学校教育や生涯学習に活用される																				
⑫ 歴史的環境保全事業 【事業概要】 盛岡市の自然環境及び歴史的環境の保全・創出のため、条例に基づき指定している保護庭園「一ノ倉邸」及びその施設の適切な維持管理を図る。 【事業費】 2,002千円 【事業担当課】 環境企画課 【実施内容】 ・保護庭園「一ノ倉邸」の維持管理 ・邸内におけるイベントの開催 【進捗状況】 管理運営業務の委託、維持管理のための修繕等を実施した。	一ノ倉邸の管理運営業務を委託する → 市街地の数少ない由緒ある庭園と、明治期の貴重な建物を身近に触れることができる休憩施設として良好に保たれる → 市民や観光者に対し歴史ある建物と庭園は地域の貴重な文化遺産として伝えることができる 一ノ倉邸の修繕等を実施する																				
⑬ 町名由来に関する事業 【事業概要】 城下盛岡旧町名由来の保存を目的に市内27箇所に50町分の「旧町名由来板」を設置し、城下盛岡町名由来記を作成して、希望者に配布する。 【事業費】 237千円 【事業担当課】 環境企画課 【実施内容】 ・町名由来板の維持管理 【進捗状況】 平成28年度は内容更新を3基行い、残り3基となった。維持管理のために町名由来板を2基修繕した。	城下盛岡旧町名の由来について市内27箇所に由来板を設置し維持管理や内容の更新を行っている → 地域の歴史や文化遺産を、由来板で容易に知ることができる → 城下町ならではの魅力が向上し、地域の歴史を旧町名の由来や町の文化として後世に伝承される	貴重な文化や歴史が地域の魅力となり次世代に伝わる																			